

TEAM IMPUL

Race result report



2013年 SUPER GTシリーズ 第3戦
マレーシア セパン・インターナショナル・サーキット
(6月15日~6月16日)

有限会社ホシノレーシング

2013年 SUPER GT シリーズ第3戦 マレーシア セパン・インターナショナル・サーキット (6月15日～6月16日)

カルソニックGT-R、 熾烈な戦いを制し、今期初優勝!!

カルソニック TEAM IMPUL No.12
ドライバー: 松田次生/J.P.オリベイラ

開幕戦、第2戦と我慢のレースを強いられる内容でしたが、ホシノインパルのビジネスが展開されているマレーシアのレースという事で、普段ご支援いただいているスポンサー様やファンの方々をはじめ、現地関係者の皆様には是非でも良いレースを見て頂きたいとの強い意気込みを持ち、星野監督以下ドライバー、スタッフはセパン入りしました。



さあ、これから、GT-Rの勇姿



6月15日(土)のフリー走行は気温35～36度、路面温度45度(13時)という厳しい状況の中で行われました。No.12カルソニックGT-Rはオリベイラからスタート。路面温度と、路面の汚れ等からオリベイラがグリップ不足を訴えたことでセットを変更しつつトライして行きましたが、思うようなフィーリングは得られませんでした。それは松田のドライビングの際も同様であり、フリー走行はやや不満を残しつつ終了しました。

そこでチームは予選までのあいだに路面状況を想定したセットアップに変更、しかしそのセットの走行確認ができず、不安は残りましたが松田のドライビングでQ1.に臨みました。すると選んだタイヤとのマッチングも良好で、狙ったとおりの走行フィーリングを得る事に成功。見事、松田が1分55秒620でトップを獲得。続くQ2.でもオリベイラが素晴らしい走り で1分55秒456を叩き出しポールポジション獲得! ピット内には一気に歓声がわき起こりました。約一年ぶりの嬉しいポール獲得に、星野監督・ドライバーに取材陣が殺到、最高に嬉しい思いでした。

今回のフリー走行でのセット変更は、状況判断不足からの失敗でした。ドライバー及びスタッフ側もベストセットにたどり着くまでに遠回りをしてしまった事を反省をしなければなりません。



ポールに向かう走り



ポール奪取後のJ.P.を迎える監督



ポールを決め、晴れ晴れと。



恒例のバースデイセレモニー



スタート直後

6月16日(日)フリー走行:今回のレースは過酷な条件下でのタイヤ管理が戦いの重要なポイントになるので、チームは選んだタイヤでのロングランに徹底し、両名のドライバーで走り込みを行いました。目先のタイムを気にせず自分たちのパッケージの中でのレースプログラムを確認してフリー走行を終了しました。

決勝は暑さを避けるため午後4時にスタート。松田がスタートを担当、ポールの優位性を生かし第一コーナーへ、序盤No.38のアタックを随所で受けましたがそれを凌ぐなかNo.38は他車との接触で後退し、No.12はトップを堅持。しかし、10周過ぎGT300のマシンが絡み始め、2番手に浮上していたNo.18に差を詰められ、テールtoノーズに持ち込まれてしまいました。松田は巧みにブロックをしつつオーバーテイクをかわしてはいましたが20周目についてNo.18に先行を許す事に…。No.18を追いつつ後続をおさえつつ松田は2位で26周目にピットイン、オリベ이라とのドライバー交替、ピット作業を36.3秒で完璧にこなしピットアウト、レースは中盤戦へ。



ゴール!



GT-Rのルーフで喜びを表すJ.P.



ゴール後のJ.P.を松田が迎える



表彰台

次の周にピットインをしたトップのNo.18、エンジン再スタートに手間取りなんと20秒あまりのロスをおとし7位～8位にポジションダウン。トップに返り咲いたNo.12は、以後タイヤをいたわりながら2位No.39との差をしっかりとキープして54周を走りきり、昨年の第6戦富士大会でのポールtoウインに続きポールtoウインで今期初優勝を飾りました。二人のドライバーの頑張り和我々のパッケージの中での良い戦いをした結果、運もありましたが勝つ事が出来ました。

今後はハンディウエイトが苦しくなりますが、一戦一戦手堅くポイントをゲットして戦って行くつもりです。ご支援、応援頂いている皆様に少しでも恩返しが出来ました事を心より嬉しく思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

ゼネラルマネージャー 金子 豊

●星野 一義（監督）

いやあー、苦しい、疲れたレースだったなあ！
我々の持っているチカラは出せたし、
2位でも仕方ないと思っていたけど、ツキがあったよ。
予選のポールも効いているし、よくやってくれた。
まだ負けている部分は協力してレベルを上げる必要がある。
これからが勝負です。皆さんありがとう。

●松田次生（ドライバー）

嬉しいですね、
やはりタイヤは苦しかったですね。
ちょっと早めに入ってしまう事になったけれど
J.P. が長丁場を守りきってくれて感謝しています。
これからはハンデがきついが
皆で頑張ります。

●J.P.オリベイラ（ドライバー）

サンキュー！最高にいい気分だよ。
確かにタイヤは苦しかったが、
みんな同じだと思って頑張った。
星野さんにもほめてもらって嬉しい。
次生さんと一緒にチャンプを目指すよ。ありがとう。

●島田次郎（エンジニア）

なんとか勝ててよかったです。
苦しいレースになる事は覚悟していましたが、
運にも恵まれたと思っています。
これからはハンディキャップとの戦い。
スタッフ一同でいい戦いが出来るよう頑張っていきます。
ありがとうございました。

●天本秀史（チーフメカニック）

良かったです。
監督にピットワークをほめてもらいました。
全員でしっかりできたと思います。
日頃からメンテナンスも各自責任感を持ってあたっているつもりです
この優勝はいい褒美になりました。ありがとうございました。

以上、監督：星野一義、ドライバー：松田次生、ドライバー：J.P.オリベイラ、
エンジニア：島田次郎、チーフメカニック：天本秀史のコメントを含めたレース結果報告です。
ご一読頂きました上で、今後ともよろしくお願い申し上げます。

GT500 RESULT: 公式予選結果(総合結果) 2013年6月15日(土) セパン・インターナショナル・サーキット 晴れ/ドライ(天候/コース)

Po	No	Machine	Driver	Q1	Q2	Tire	WH
1	12	カルソニックIMPUL GT-R NISSAN GT-R / VRH34B	松田 次生 J.P・デ・オリベイラ	1'55.620	1'55.456	BS	22
2	38	ZENT CERUMO SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	立川 祐路 平手 晃平	1'55.778	1'55.589	BS	46
3	37	KeePer TOM'S SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	伊藤 大輔 アンドレア・カルダレッリ	1'56.214	1'55.688	BS	10
4	39	DENSO KOBELCO SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	脇阪 寿一 石浦 宏明	1'56.054	1'55.751	BS	22
5	100	RAYBRIG HSV-010 Honda HSV-010 GT / HR10EG	伊沢 拓也 小暮 卓史	1'55.886	1'56.015	BS	48
6	1	REITO MOLA GT-R NISSAN GT-R / VRH34B	本山 哲 関口 雄飛	1'55.844	1'56.046	MI	6
7	8	ARTA HSV-010 Honda HSV-010 GT / HR10EG	ラルフ・ファーマン 松浦 孝亮	1'56.185	1'56.770	BS	10
8	18	ウィダー モデューロ HSV-010 Honda HSV-010 GT / HR10EG	山本 尚貴 フレデリック・マコヴィッキィ	1'55.709	1'57.969	MI	14
9	23	MOTUL AUTECH GT-R NISSAN GT-R / VRH34B	柳田 真孝 ロニー・クインタレッリ	1'56.336		MI	22
10	17	KEIHIN HSV-010 Honda HSV-010 GT / HR10EG	塚越 広大 金石 年弘	1'56.468		BS	30
11	36	PETRONAS TOM'S SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	中嶋 一貴 ジェームス・ロシター	1'56.552		BS	40
12	6	ENEOS SUSTINA SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	大嶋 和也 国本 雄資	1'56.562		BS	30
13	32	Epson HSV-010 Honda HSV-010 GT / HR10EG	道上 龍 中嶋 大祐	1'56.618		DL	
14	24	D'station ADVAN GT-R NISSAN GT-R / VRH34B	安田 裕信 ミハエル・クルム	1'57.245		YH	
15	19	WedsSport ADVAN SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	荒 聖治 アンドレ・クート	1'57.427		YH	

GT500 RESULT: 決勝結果 2013年6月16日(日) セパン・インターナショナル・サーキット 曇/ドライ(天候/コース) 気温32度 路面温度42度

Po	No	Machine	Driver	Time/Diff.	Laps	Tire	WH
1	12	カルソニックIMPUL GT-R NISSAN GT-R / VRH34B	松田 次生 J.P・デ・オリベイラ	1:50'11.232	54	BS	22
2	39	DENSO KOBELCO SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	脇阪 寿一 石浦 宏明	4.09	54	BS	22
3	100	RAYBRIG HSV-010 Honda HSV-010 GT / HR10EG	伊沢 拓也 小暮 卓史	8.631	54	BS	48
4	18	ウイダー モデューロ HSV-010 Honda HSV-010 GT / HR10EG	山本 尚貴 フレデリック・マコヴィッキィ	15.657	54	MI	14
5	17	KEIHIN HSV-010 Honda HSV-010 GT / HR10EG	塚越 広大 金石 年弘	15.803	54	BS	30
6	1	REITO MOLA GT-R NISSAN GT-R / VRH34B	本山 哲 関口 雄飛	23.897	54	MI	6
7	6	ENEOS SUSTINA SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	大嶋 和也 国本 雄資	28.971	54	BS	30
8	8	ARTA HSV-010 Honda HSV-010 GT / HR10EG	ラルフ・ファーマン 松浦 孝亮	40.926	54	BS	10
9	23	MOTUL AUTECH GT-R NISSAN GT-R / VRH34B	柳田 真孝 ロニー・クインタレッリ	41.487	54	MI	22
10	37	KeePer TOM'S SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	伊藤 大輔 アンドレア・カルダレッリ	56.415	54	BS	10
11	36	PETRONAS TOM'S SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	中嶋 一貴 ジェームス・ロシター	1'11.696	54	BS	40
12	32	Epson HSV-010 Honda HSV-010 GT / HR10EG	道上 龍 中嶋 大祐	1'18.171	54	DL	
13	24	D'station ADVAN GT-R NISSAN GT-R / VRH34B	安田 裕信 ミハエル・クルム	1'22.260	54	YH	
14	38	ZENT CERUMO SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	立川 祐路 平手 晃平	1'59.409	54	BS	46
15	19	WedsSport ADVAN SC430 LEXUS SC430 / RV8KG	荒 聖治 アンドレ・クート	2'00.793	54	YH	

GT500 DRIVER RANKING

Po	No.	Driver	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	100	伊沢 拓也 小暮 卓史	20	4	11						35	-	70
2	12	松田 次生 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	5	6	20						31	-4	62
3	39	脇阪 寿一 石浦 宏明	3	8	15						26	-9	52
4	38	立川 祐路 平手 晃平	8	15							23	-12	46
5	17	塚越 広大 金石 年弘	15		6						21	-14	42
6	36	中嶋 一貴 ジェームス・ロシター		20							20	-15	40
7	6	大嶋 和也 国本 雄資	4	11	4						19	-16	38
8	18	山本 尚貴 フレデリック・マコ ヴィッキィ	6	1	8						15	-20	30
9	23	柳田 真孝 ロニー・クインタレッリ	11		2						13	-22	26
10	1	本山 哲 関口 雄飛	1	2	5						8	-27	16
11	8	ラルフ・ファーマン 松浦 孝亮	2	3	3						8	-27	16
12	37	伊藤 大輔 アンドレア・カルダレッリ		5	1						6	-29	12

GT500 TEAM RANKING

Po	No.	Team	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	100	TEAM KUNIMITSU	23	7	14						44	-	70
2	12	TEAM IMPUL	8	9	23						40	-4	62
3	39	LEXUS TEAM SARD	6	11	18						35	-9	52
4	38	LEXUS TEAM ZENT CERUMO	11	18	3						32	-12	46
5	6	LEXUS TEAM LeMans ENEOS	7	14	7						28	-16	38
6	36	LEXUS TEAM PETRONAS TOM'S	2	23	3						28	-16	40
7	17	KEIHIN REAL RACING	18		9						27	-17	42
8	18	ウィダー モデューロ 童夢レーシング	9	3	11						23	-21	30
9	23	NISMO	14		5						19	-25	26
10	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	5	6	6						17	-27	16
11	1	MOLA	4	4	8						16	-28	16
12	37	LEXUS TEAM KeePer TOM'S	1	8	4						13	-31	12
13	32	NAKAJIMA RACING	3	1	3						7	-37	
14	19	LEXUS TEAM WedsSport BANDO	2	2	3						7	-37	
15	24	KONDO RACING	2	2	3						7	-37	